

平成28年8月19日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(32回公演)報告

28.8.19 高齢者住宅向けディサービスセンターなでしこ 熊谷市美土里町

32回の公演は熊谷市社会福祉協議会からの要請で「高齢者住宅向けディサービスセンターなでしこ」納涼祭で行いました。

「高齢者住宅向け…」と聞いていましたが、集まった方々は他の施設とほとんど変わりがなく、ただ納涼祭のイベント公演なので、開始時間が午後4時と何時もと違います。

今日の公演は衣装を納涼祭に合わせ、浅草で新調したお祭りスタイルで臨みました。

会場の中は入所者のその家族の方々が一つのテーブルを囲み、皆さんが笑顔、笑顔で話しあっていました。納涼祭は職員の方々が企画したスイカ割りならぬフーセン割りから始まり、目隠しした入所者や職員がフーセン割りに失敗した時は、会場内は爆笑と大きな激励の声がかかり、賑やかでおおいに盛り上がっていました。

また、今日は熊谷市社会福祉協議会から職員の方が視察に来られました。

我々の公演は4時からで、施設側からの短い紹介のあと始まりました。

はじめは「南京玉すだれ」の演技です。舛田さんの口上ではじまり入所者、その家族の方、職員の皆さんから歌にあわせた手拍子が会場内に響き、初めてみる「玉すだれ」の変化に興味と驚きの空気になりました。

そのあと我々の自己紹介を行い、一人一人玉すだれで得意の形をつくり披露しました。続いて入所者の居場所に寄り、「玉すだれ」を実際手触れていただき、大きな輪をつくり演じてもらうコーナーでは、入所者の方、入所者とご家族また入所者と職員の方が一緒に「玉すだれ」を持ったポーズで記念になる写真を撮りました。

根岸さんの司会で進行する健康体操「サザエさん」では職員の方がハッスルし会場は最高潮に達し、最後の「きよしのズンドコ節」で予定の50分の公演が終わりました。社会福祉協議会の方からは「入所者の方々との触れ合いがとても印象的でした。また演ずる皆さんも楽しそうでした。」と最高のお誉めの言葉をいただきました。





